

県コンクリート製品組合 24年賀詞交歓会を開催

県コンクリート製品協同組合(寺田裕之理事長)は19日、2024年新年賀詞交歓会を千葉市内の本ホテルで開き、出席した約50人が新しい年の門出を祝うとともに今年の活動方針を再確認した。寺田理事長は、冒頭のあいさつで、「組合員同志や一人一人がやれることを確実に実行する。それが国力を増大させる」などと意気込みを話した。



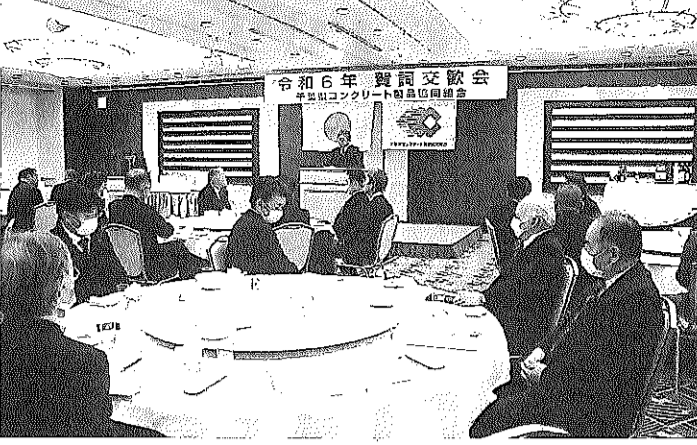
寺田理事長

寺田理事長は、1日のむすび開けになったと言及。「企業の存続のためには、一人一人がやれることを考え、確実に実行に移すことが大切だ。それが国力を増大させることになる。次世代への継承にもつながる」と強調した。



今関専務理事

来賓の県中小企業団体中央会の今関光俊専務理事は、業界を取り巻く不安、最低賃金の引上げ、人手不足など、厳しい環境にあるとしながらも、「組合設立、運営支援とともに、個別企業にも支援を続ける」と話した。前理事長の斎藤寿夫氏に、これまでの業績に敬意を表し、寺田理事長から記念品が贈呈されると、斎藤氏は、組合員らに感謝の言葉を述べた。



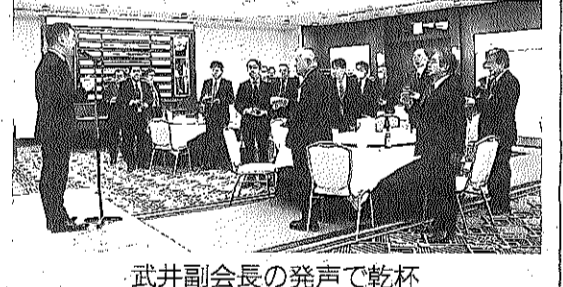
一致団結を確認した賀詞交歓会



斎藤前理事長(左)に記念品が贈られた



これまでの活動を振り返る斎藤前理事長(左)と寺田理事長



武井副会長の発声で乾杯

謝の言葉を述べ、「資材価格の高騰など課題は多いが、業界の地位向上にこれからの協力したい」とあいさつした。

組合は、組合員の健全な経営とその従事者の生活の安定を将来にわた

り確保するため、販売価格の適正化・県産品コンクリート製品の需要拡大・新製品の開発と普及・拡大、事業継承などを中

心として事業を展開する。販売価格の適正化のためには、市況調査と広告宣伝が欠かせないこと

から、調査とともに組合型製品の普及、情報交換・提供、県産品コンクリート製品の需要拡大を図

る。建設業労働災害防止協会(建設防)県支部の長

の長(緑川剛司)が祝辞を述べた。武井副会長が祝辞を述べた。

指定管理導入を検討 上永井公園など市場調査

旭市

旭市は、上永井公園と旭市飯岡刑部岬展望館の指定管理業務に関するサウンディング調査結果を公表した。昨年11月の現地見学会と、翌12月のサウンディングにより、さらなる観光振興に関するもの、地域活性化に繋がる市内事業者らの活用や地産地消、多目的室・展示室の稼働率増加に

対象となるのは、上永井地区の敷地1方1354㎡にある「上永井公園」と、同公園に設置される「旭市飯岡刑部岬展望館」。上永井公園には延べLGS造平屋約20㎡のトイレ(2000年1月供用)1棟や、72分(大型用6・障がい者用

2台含む)の駐車場が備わる。一方、旭市飯岡刑部岬展望館の構造・規模などはRC(一部S)造3階建て延べ約808㎡(建築面積約435㎡、01年3月供用)1棟となっている。

上永井公園は、九十九里浜を一望できる景勝地の刑部岬に、観光振興のため整備されたもので、刑部岬からの雄大な眺望並びに市の様々な情報・

交流の機会を提供すること、観光の振興と地域活性化につながるための旭市飯岡刑部岬展望館を、今後、今度の飯岡刑部岬展望館を含めた上永井公園の施設のあり方を検討し、市の観光拠点施設としての魅力の創出や本市

の歴史や産業を絡めた効果的に魅力的な自然風土が学習できる資料の展示イベントの場としての活用を図るため、民間事業者らとの対話を通じて、25年度からの施設の活用や運営方針、指定管理者選定のための詳細な条件整備を図ることなどを目的にサウンディング型市場調査を実施した。

現在、上永井公園は、芝生やトイレなどの施設の維持管理を単年ごと

に業務委託しており、23年度は管営(旭市)が芝生等維持管理を担当。また22年度に県から譲渡を受けた飯岡刑部岬展望館については、施

設の運営管理を23年度にはアマラン(千葉市中央区)に業務委託している状況となっている。

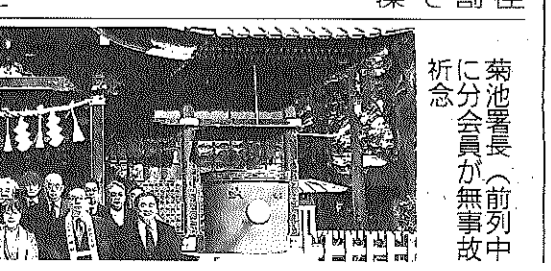
上永井公園内に立地する「旭市飯岡刑部岬展望館」

に続き、死亡事故ゼロを達成することができた。建設技能者の高齢化で、事故のリスクが高まっているが、引き続き、事故を絶対に起こさないという気持ちで取り組んでいきたい。年度末で労災多発が危惧されるが、労基署の指導の下、安全管理を徹底させたい」と話した。

菊池署長は、管内死亡事故もゼロについて「安全意識が高まっている」とし、働き方改革をすす

めたい。

長夷分会員が安全祈願 一宮・玉前神社を参拝



菊池署長(前列中に分員が無事故祈念

ホームページを活用することで、組合員企業の製品情報を発信することにも、新聞などの記事や広告でPRし、イメージアップに引き続き努めるとしている。

関東コンクリート製品と経営安定などについて、協会の武井厚副会長が祝辞を述べた。

長夷分会の理事や代議員のほか、茂原労働基準監督署の菊池美香署長ら15人が参加した。

神事後、緑川分会会長が挨拶し、今年1月の安全を祈願した。長

2月9日まで受付
24年度 入札参加資格申請
東総広域水道

東総広域水道企業団は、2024年度(25年度)の入札参加資格審査申請を受け付けている。4月1日から27年3月31日まで有効な資格者名簿に登載するための申請で、2月9日まで郵送により提出を受け付けている。

同企業団が発注する建設工事、測量・設計等の委託、製造の請負、物品の購入、役務の提供または貸借に関する契約における一般・指名競争入札への参加希望者は、入札参加資格者名簿に登載される必要がある。登録されるためには入札資格審査を受けなければならぬ。

係書類はホームページに掲載している。受付期間

建設 リサイクル法届出

成田市内

成田市では、昨年12月までに社会福祉法人徳栄会(芝山町)、高根宏理事(長)による大宮地区の福祉施設整備や、吉野家

▽元請業者 大和リィ
▽工期 2月29日
▽受付日 2023年10月5日

【東京電力パワーグリッドによる整備】

▽発注者 東京電力パワーグリッド

▽発注者 東京電力パワーグリッド

▽発注者 東京電力パワーグリッド

【東日本旅客鉄道による整備】

▽発注者 東日本旅客鉄道

▽発注者 東日本旅客鉄道

▽発注者 東日本旅客鉄道

【東日本高速道路による整備】

▽発注者 東日本高速道路

▽発注者 東日本高速道路

▽発注者 東日本高速道路

【東京ガスネットワークによる整備】

▽発注者 東京ガスネットワーク

▽発注者 東京ガスネットワーク

▽発注者 東京ガスネットワーク

【東日本電信電話による整備】

▽発注者 東日本電信電話

▽発注者 東日本電信電話

▽発注者 東日本電信電話

【東京電力パワーグリッドによる整備】

▽発注者 東京電力パワーグリッド

▽発注者 東京電力パワーグリッド

▽発注者 東京電力パワーグリッド

【エアポートメンテナンスサービスによる整備】

▽発注者 エアポートメンテナンスサービス

▽発注者 エアポートメンテナンスサービス

▽発注者 エアポートメンテナンスサービス

MAVERICK
土木 建築 現場 設備

株マールベリック
(千葉県警備業協会)
千葉ガードセンター
TEL. 043-264-1884

住宅地が形成されていることなどを踏まえ、周辺環境に馴染むことを前提として、産業基盤の形成を希望する声が上がっている。

現況の土地利用の大半が農地であることから、地区計画の策定にあたっては、農林調整や農協協議などに数年を要する見込み。法定手続きには1か年程度を想定している。

同地区の地権者有志は2

た。

そこで、20年7月に策定した都市計画マスタープランにおいて同地区を「高速道路インターチェンジ周辺等」に位置付け、市民の利便性や地域活力の向上に資する産業等の立地など、地域振興に寄与する土地利用の規制誘導を図ることとした。

これまで同地区の土地利用の可能性に関して県と協

佐藤英利・都市建設部長は、同地区の土地利用については「東京湾アクアラインの着岸地であることから、広域的な交通利便性を最大限に生かし、地域振興に寄与する産業をイメージしている」と話した。さらに「産業基盤の具体的なイメージについては、地権者の意向を基に国や県との協議を踏まえて検討していくことになる。同地区の東西に

議会（会長・滝沢智・東京大学大学院教授）を県庁本庁舎5階大会議室で開いた。21年度現在で、県内の水道施設の耐震化状況は、基幹的な水道管の耐震適合率60・3%（17年度から4・7%増）、浄水施設の耐震化率41・2%（同2・4%増）、配水池の耐震化率54・8%（同2%増）となっている。これを踏まえ、宮崎正信・日本水道工

にも被害が生じたことを紹介し、管路の更新などへのさらなる事業費投入の必要性を訴えた。

一方で、県営水道中期経営計画に基づく管路の更新・整備について「目標水準が低く、更新率が足りないため、老朽化が進展してしまつ」と指摘。続けて「県営水道の経営状況は悪化しつつある。さらに更新率を上げなければならない」とな

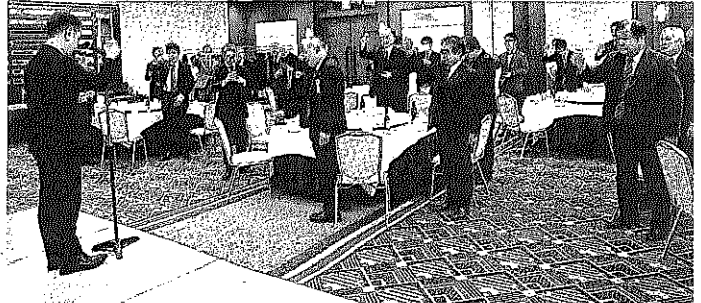
問に対し、県企業局は「中期経営計画に基づき年約80kmで行うこととしているが、県営水道長期施設整備方針では将来的に年約100km以上を目指す方針を定めている」と応じた。

県内には、県営水道のほか、市町村などが企業団方式で経営する6つの水道用水供給事業体と市町村などが経営する末端給水事業体がある。

水収益の伸びを見込むことが困難となってきたという。一方、老朽化した浄・給水場や管路の更新・整備に多額の建設事業費が必要となるほか、更新・整備後の減価却費の増加が見込まれる。県営水道の統合についても、その結果、純利益の減少や企業債残高の増加が統合時期の26年4月への変更や、統合後の一定期間における地域別料金制の導入検討などを報告した。

費削減策や収入確保策について検討していく。

そのほか、県営水道の統合・広域連携のリーダーシップとして進めている。一九九里地域・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道の統合についても、その結果、純利益の減少や企業債残高の増加が統合時期の26年4月への変更や、統合後の一定期間における地域別料金制の導入検討などを報告した。



関東コンクリート製品協会の武井厚副会長が乾杯の発声

千葉県コンクリート製品協同組合（寺田裕之理事長）の「2024年新年賀詞」の「2024年新年賀詞交歓会」が19日、千葉市内の京成ホテルミラマールで開かれ、総勢約40人が出席。来賓を代表して、千葉県中小企業団体中央会の今関光俊専務理事が祝辞を述べたほか、斎藤寿夫・前理事長の功績を称え、同氏に記念品を贈呈した。

協調できるもので協力する体制強化

主催者を代表して寺田理事長は、1日に発生した能



寺田理事長

登平島地震を踏まえたうえで「一人ひとりが今やれることを確実にやること、社会や経済を停滞させることなく回し、ひいては、被災地や突然の不幸に見舞われた人々の後方支援を可能」との考えを示した。として、国力を増大させることになると考える」と言

と次世代への継承を可能にする」との考えを示した。一方で「私たちは今般の震災を見るまでもなく、地域のライフラインにおける

組合員として協調できるものは互いに協力し合う体制の強化が求められている」と訴えた。

他方、組合において今年度は、共同販売関係を一括した委員会を立ち上げたほか、エコセメント委員会を「SDGs委員会」と改称して、カーボンニュートラル等の対応に加え、新たな情報や技術の共有・発信も行うことを説明。「組合員各位の協力に加えて、奮っての参加をお願いしたい」と呼びかけるとともに、理事メンバーに若手の経営者を迎え入れたことで「事業継承の折には意見を聞達にし、次世代の関係性構築に尽力して頂ければ」と述べ、あいさつとした。

中小企業の省力化投資補助金に着目

千葉県中小企業団体中央会の今関専務理事は、今年度の千支の辰年について「『活気づくような年』となる組合設立支援やその後の『SDGs委員会』と改称して、カーボンニュートラル等の対応に加え、新たな情報や技術の共有・発信も行うことを説明。「組合員各位の協力に加えて、奮っての参加をお願いしたい」と呼びかけるとともに、理事メンバーに若手の経営者を迎え入れたことで「事業継承の折には意見を聞達にし、次世代の関係性構築に尽力して頂ければ」と述べ、あいさつとした。

向けると、円安、最低賃金の引き上げ、人手不足等々から、依然として厳しい状況にある」と分析。

これらの状況の中で「我々中央会は本来の事業である組合設立支援やその後の運営支援に力を入れていくが、併せて個別企業への支援、ものづくり支援や経営革新計画の策定支援などについても、引き続き取り組む考えである」と強調。

さらに、今年3月から中小企業庁において、中小企業の省力化投資補助金の計画があることに言及。「ま

記念品を贈られた斎藤前理事長。「業界の地位向上のために組合が中心となって活動し、発展し続けてほしい」と述べ、祝辞に代えた。



今関・中小企業団体中央会専務理事

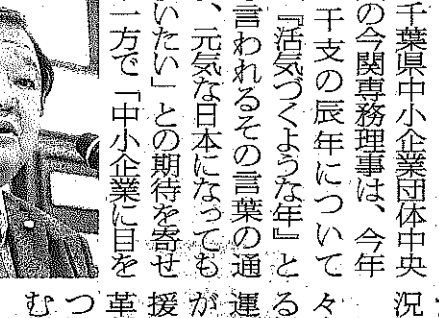
地域社会を支える認識を

ライフラインの安全装置

私たちの企業から始めなければならぬ」とし、人材不足や資材インフレの風を翻弄された昨年と比べて「少しづつではあるが価格も上昇に転じている。この動きを緩めることなく持続させることが、企業の存続

安全装置である」とした寺田理事長は、災害が多く生じる日本の国土において「私たちの仕事は地域社会を支え、人々の生命と財産を守る尊い仕事であること」を認識し、技術やサービス

「私たちには意見を聞達にし、次世代の関係性構築に尽力して頂ければ」と述べ、あいさつとした。



今関・中小企業団体中央会専務理事

「私たちには意見を聞達にし、次世代の関係性構築に尽力して頂ければ」と述べ、祝辞に代えた。